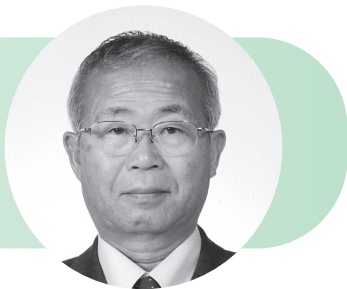


三宮 十五郎 議員



1乗車2千円かかるコミュニティバスの抜本的改革を

問

コミュニティバスを聞く。

- (1) 23年度、1億3千533万円を負担して、利用者は1日184人、1回当たりの費用は2千円である。抜本的な見直しが必要ではないか。
- (2) 三重県玉城町のデマンド方式を調査してはどうか。

停留所削減、福祉バス化を検討

答 市長

- (1) 南部ルート利用が多く、便を増やすのが常道だと思う。北部、東部ルートは停留所を削減していきたい。
- 5、6千万円の総額方式で、料金を無料化し、21年度まで運行していた巡回福祉バスに戻す方法もあるのではないかと思っている。

- (2) 時間をかけて検討していきたい。

タクシー券と自動車税減免併用を

問

タクシーチケットを聞く。

- (1) 重度障害者のチケット取得と、自動車税減免は重複利用できない。双方使える仕組みが必要ではないか。
- (2) 市街地から離れた人は、(利用総額が)相当な負担になる。研究してほしい。

25年度より特例制度を設ける

答 福祉課長

- (1) 自動車税減免を受けている人が、病気や出産等で

- 運転できない場合、25年度より特例として一月4枚のチケットを交付する。
- (2) 地域で交付枚数を変えることは難しい。

財政的に福祉を維持できるのか

問

中長期的な財政計画を確立することを聞く。現在の市の状況から見て、どういう方向で福祉を担保しているのか【関連記事15画】。

大型事業と保育料見直し等並行

答 市長

25～29年度の中期財政計画を策定した。

大きなプロジェクトとして、28年度(完成)をめどに、総額50億円を超える新庁舎建設、25、26年度に7億前後の投資となる白鳥保育所改築、佐古木駅南側の整備

を25、26年の中で行いたい計画を持っている。歳出の見直しもやっていたかなければならない。

保育料見直しは、県(平均)レベルで(値上げを)協議したい。JR・名鉄駅の整備計画は、30数億円かかるので凍結したい。全職員給与を3%以上5%未満、3年間減額したい。

地域公共交通の見直し、扶助費の見直し等々もしっかり精査しないと、計画が全うできない。大変厳しい状態だが、理解を得ながら福祉財源を確保しなければならぬと思っています。



▶整備が計画される近鉄佐古木駅南口